

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																					
福岡ウェディングアンドブライダル専門学校	平成26年3月11日	岩本 克也	〒812-0013 福岡県福岡市博多区博多駅東1-10-39 (電話) 092-434-7007																					
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																					
学校法人 三幸学園	昭和60年3月8日	星間 一彦	〒113-0033 東京都文京区本郷三丁目23番16号 (電話) 03-3814-9641																					
分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士																				
商業実務	商業実務専門課程	ウェディングプランナー科	平成26年文部科学省告示第18号	-																				
学科の目的	「世の中の困難を希望に変える」をミッションとし、学校教育法に基づき、ウェディング・ブライダルの関連分野において活躍できる人材を育成するため、必要とされる知識や技能を教授することを目的とする。																							
認定年月日	平成31年3月5日																							
修業年限	昼夜	講義	演習	実習	実験	実技																		
	2年 昼間	62単位	48単位	46単位	8単位	0単位																		
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																			
160人	154人	0人	12人	17人	29人																			
学期制度	成績評価		■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 授業科目の成績評価は、試験、レポート、履修状況等を総合的に勘案して行い、各科目ごとの基準についてはシラバスに示す。																					
長期休み	卒業・進級条件		授業科目の履修を終了した者には、認定のうえ単位を与える。単位の認定については、各科目における試験及び演習・次週の評価によるものとする。単位制学科の卒業認定に種別による単位数は62単位とする																					
学修支援等	課外活動		■課外活動の種類 学外のコンテスト参加、ショーの観覧等  ■サークル活動: 無																					
就職等の状況※2	主な就職先・業界等(平成30年度卒業生)		■国家資格・検定/その他(民間検定等) (平成30年度卒業生に関する令和元年5月1日時点の情報)																					
	<p>株式会社テイクアンドグウィー・ニュース、アイ・ケイ・ケイ株式会社</p> <p>■就職指導内容 担任、企業担当教員との面談。就職指導、企業説明会の開催</p> <p>■卒業者数: 84 人</p> <p>■就職希望者数: 84 人</p> <p>■就職者数: 84 人</p> <p>■就職率: 100 %</p> <p>■卒業者に占める就職者の割合: 100 %</p> <p>■その他 ・進学者数: 0人</p> <p>(平成30年度卒業生に関する令和元年5月1日 時点の情報)</p>		<table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>レストランサービス検定</td> <td>②</td> <td>25人</td> <td>17人</td> </tr> <tr> <td>ブライダルコーディネーター技能検定</td> <td>③</td> <td>65人</td> <td>56人</td> </tr> <tr> <td>企業ブライダルプランナー検定</td> <td>③</td> <td>58人</td> <td>54人</td> </tr> <tr> <td>パーソナルカラーコーディネーター検定</td> <td>③</td> <td>84名</td> <td>84人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの(民間検定等) ③その他(民間検定等)</p> <p>■自由記述欄 (例)認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等</p>			資格・検定名	種	受験者数	合格者数	レストランサービス検定	②	25人	17人	ブライダルコーディネーター技能検定	③	65人	56人	企業ブライダルプランナー検定	③	58人	54人	パーソナルカラーコーディネーター検定	③	84名
資格・検定名	種	受験者数	合格者数																					
レストランサービス検定	②	25人	17人																					
ブライダルコーディネーター技能検定	③	65人	56人																					
企業ブライダルプランナー検定	③	58人	54人																					
パーソナルカラーコーディネーター検定	③	84名	84人																					
中途退学の現状	<p>■中途退学者: 0名 ■中退率: 7%</p> <p>平成30年4月1日時点において、在学者122名(平成30年4月1日入学者を含む) 平成31年3月31日時点において、在学者114名(平成31年3月31日卒業生を含む)</p> <p>■中途退学の主な理由 進路変更、精神疾患</p> <p>■中退防止・中退者支援のための取組 入学前から進路アドバイスをさらに強化、入学後は、教科担当や担任より業界の魅力や伝えることと学びがよいや上達を実感できる指導の向上。又、面談の実施やカウンセリングの利用の促し。</p>																							
経済的支援制度	<p>■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 特待生入学制度、三幸学園経済支援制度、美容科通信併願奨学生制度</p> <p>■専門実践教育訓練給付: 非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載</p>																							
第三者による学校評価	<p>■民間の評価機関等から第三者評価: 無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL)</p>																							
当該学科のホームページURL	<a href="http://www.sanko.ac.jp/fukuoka-bridal">http://www.sanko.ac.jp/fukuoka-bridal</a>																							

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前公表年月日は空欄として下さい

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業生の「就職率」の取扱いについて(通知(25文科第596号))」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者を含みません。

③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年度に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者のうち就職者総数の占める割合をいいます。

②「就職」とは給料、資金、報酬その他経済的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。

(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進学(3. 主な学修成果(※3))

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

企業等との連携を通じて必要な情報の把握・分析を行い、実践的かつ専門的な職業教育を実施することを目的として、教育課程編成委員会を設置する。委員会は次の各号に掲げる事項を審議し、授業科目の開設や授業方法の改善・工夫に生かす。

- (1)カリキュラムの企画・運営・評価に関する事項
- (2)各授業科目の内容・方法の充実及び改善に関する事項
- (3)教科書・教材の選定に関する事項
- (4)その他、教員としての資質・能力の育成に必要な研修に関する事項等

またより正確に業界における動向や求められる人材要件を把握するため、就職・実習先企業や業界団体、資格・検定団体等と関係性を深め、幅広く連携を図ることで、業界の求めるニーズを確実に捉え、本校のカリキュラムや授業内容に反映する。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

教育課程編成委員会での審議を通じて示された企業等の要請その他の情報・意思を十分に生かし、実践的かつ専門的な職業教育を実施するに相応しい教育課程の編成を協力して行うものとして位置づけている。

具体的には、審議を通じて示された教育課程編成に係る意見を基に、副校長および教務主担当者、教科チーフを中心に教育課程およびシラバスの改善素案が作成され、美容分野専門委員会(別紙組織図:各専門委員会)にて提案される。提案に基づき、美容分野専門委員会にて審議の上、次年度の教育課程およびシラバスに改善内容が反映される。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和元年7月31日現在

名前	所属	任期	種別
林 一馬	全米ブライダルコンサルタント協会	平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年)	①
桑野 裕二	高見株式会社	平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年)	③
榊原 慎也	株式会社 瀏上ファインズ	平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年)	③
高岡 利和	学校法人三幸学園 福岡ウェディングアンドブライダル専門学校	平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年)	副校長

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回(7月、12月頃)

(開催日時(実績))

第1回 平成30年12月7日 13時30分～15時00分

第2回 平成31年7月8日 10時00分～11時30分

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

企業が求める実践力を備えた人材へ向けて「現場が求める社会人基礎力」の育成及び今後必要になってくる要素としてコミュニケーションスキルの向上及び主体性を持ち考え、行動が必要等の意見が委員からあがった。よって、ブライダル演習Ⅲの科目や各授業での生徒指導方針への追加を実施。ブライダル演習Ⅲにおいては5社以上の企業様に来校頂き授業を実施。また、今後求められる人材として変化の多い社会においてSNS等情報に対し、様々な提案ができるようにITスキルの科目やセレクト授業を中心に今後さらなるカリキュラムの編成に向けて取り組んでいる。

## 2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

### (1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

基本方針として「最幸の結婚式を創り上げることを通じて新郎新婦だけではなく、その家族、その人生も幸せにできるNO.1のプランナーを育成する」という本校人材育成方針のもと、ブライダル業界等との連携で実践的かつ専門的な職業教育を実践していくこと。ブライダル業界においては知識と接客力が重要であるということは不変のものであり、双方を兼ね備えることで長く業界で活躍することができ、業界の発展にもつながっていく。そこから本校教育理念である「技能(知識・技術・理論)」「心(人間教育・対人基礎力)」の調和をもとに授業計画から本校教員も参加し、「技術・理論の習得レベル」及び「マナー」「コミュニケーション」など現場に即した内容を検討、そして定期的に授業の振り返りを行い、継続的かつ改善工夫を実施している。企業等と連携することで、より早く現場の変化や課題に対する対応及び教育への反映うがで、本校そして業界の求める「人材の育成」に貢献できると考える。生徒の学修評価は、100点法で素点を出し、それを20で割り四捨五入し、5点法に換算する。

### (2) 実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

- \* 授業内容について(2年間で10日程度、連携企業先で現場実習を実施し、ブライダル業界に必要な知識と技術を習得する)
- \* 評価について(連携企業による項目別の評価をもとに最終評価に反映させ、成績認定を行うものとする)

### (3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
ブライダル演習Ⅰ～Ⅲ	挙式・披露宴の基礎知識、社会人に必要なビジネスマナーを学ぶ。また、演習を通し、現場スタッフに必要な実践力を身につける。	IKK株式会社 他

## 3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

### (1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

実践的かつ専門的な職業教育を実施し、明日の美容業界を担う人材を養成するためには、教員一人ひとりが常に業界ならびに実務に関する最新の知識を持ち、指導スキルを身につけようという向上心がなければならない。そのために、「研修等に係る諸規程」に基づき、計画的に以下の研修を実施している。

- ・企業等から講師を招いた実践的かつ専門的な知識・技術・技能を修得するための研修
- ・企業等から講師を招いた指導力の修得・向上のための研修

### (2) 研修等の実績

#### ① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名「全国ウェディングアンドブライダル姉妹校教職員研修における各分野別研修」

(連携企業等:リクルート ブライダル総研 所長 鈴木 直樹様)

期間:平成30年年8月23日(水) 対象:専任教員80名

内容:ブライダル業界の今後と求められる人材について講話。

マーケットの現状と動向を基に今後、授業や行事などの学校教育でお客様との関係性構築能力の向上を図るきっかけとした。

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名「ファシリテーター研修」(連携企業等:株式会社アビリティトレーニング)  
期間:平成31年3月28日(木) 対象:教職員291名  
内容:感動は人を動かす 講話

(3) 研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名「全国ウェディングアンドブライダル姉妹校教職員研修における各分野別研修」(連携企業等:一般財団法人ペップトーク普及協会)  
期間:令和元年8月23日(金) 対象:専任教員81名  
内容:ペップトーク

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名「ほめる達人研修」(連携企業等:一般社団法人 日本ほめる達人協会)  
期間:令和元年8月29日 対象:教職員28名  
内容:ほめる素晴らしさを知り、生徒指導に活かす

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

学校関係者として、関連分野の業界関係者及び卒業生、地域に根差した関連企業と共に、学校関係者評価委員会を設置して、教育目標や教育について評価し、その評価結果を次年度の教育活動および学校運営の改善の参考とする。学校関係者評価は、「専修学校における学校評価のガイドライン」の評価項目を使用して実施した自己点検・自己評価の結果を基に「実施することを基本方針とする。また評価結果は学校のホームページで公表し、委員会で得られた意見についてはすみやかに集約し、各業務担当者にフィードバックすることで、学校運営の改善に生かすものとする。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	(1) 教育理念・目標
(2) 学校運営	(2) 学校運営
(3) 教育活動	(3) 教育活動
(4) 学修成果	(4) 学修成果
(5) 学生支援	(5) 学生支援
(6) 教育環境	(6) 教育環境
(7) 学生の受入れ募集	(7) 学生の受入れ募集
(8) 財務	(8) 財務
(9) 法令等の遵守	(9) 法令等の遵守
(10) 社会貢献・地域貢献	(10) 社会貢献・地域貢献
(11) 国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

●委員からのご意見

就職先の質と生徒が納得いく就職活動指導が必要。又、卒業生の連携をしてはどうか。また、学びを企業と連携すると良い。

●活用

学校が情報交換や支援などができる卒業生同窓会サイトのWEB立ち上げ。企業への訪問強化。1DAYインターンシップの実施。企業様の協力を得て模擬披露宴や本物結婚式、合同コンペティションを行っている。

≪教育活動≫

●委員からのご意見

企業業務の際に臨機応変に対応する力が必要であり、様々な経験をすることで対応力をつけて欲しい。

●活用

行事を多く取り入れ、生徒がチャレンジする機会をつくっている。又、外部連携としてLGBTを始めとするあらゆる少数派の方が多様性豊かに住みやすい街にするためのイベントであるレインボーパレードで結婚式のプランニングやヘアメイクを行った。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和元年7月31日現在

名前	所属	任期	種別
後藤 秀典	ララチャンス博多の森	平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年)	企業
道躰 美智子	福岡メディックス株式会社 ブライダルみちこ	平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年)	企業
藤田 憲子	有限会社西岡総業	平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年)	地域住民
小島 千波	株式会社ベスト-アニバーサリー	平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年)	卒業生

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例) 企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ)・ 広報誌等の刊行物 ・ その他( ) )

URL: [https://www.sanko.ac.jp/fukuoka-bridal/pdf/kankeisyahyouka\\_fukuoka.pdf](https://www.sanko.ac.jp/fukuoka-bridal/pdf/kankeisyahyouka_fukuoka.pdf)

公表時期: 2019年7月31日

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」に則って情報提供を行うことを基本方針とし、以下の姿を目指す。

1. 学校の指導方針や課題への対応方法等に関し、教職員・生徒間、学校・家庭間の共通理解が深まり、教育活動の活性化や学校運営の円滑化につなげること。
2. 入学希望者やその保護者に対し、進路選択に当たっての有用な情報を提供するとともに、一人ひとりの能力・適性にあった望ましい進路の実現に資すること。
3. キャリア教育・職業教育をはじめとした教育活動の状況等について、業界関係者に情報提供することで、相互の対話が促され、実習・就職指導等企業等との連携による活動の充実や、業界等のニーズを踏まえた教育内容・方法の改善につなげること。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	学校の概要、目標および計画
(2) 各学科等の教育	学科概要、カリキュラム、シラバス、客観的な指標の算出方法、卒業要件、 目指すべき人材像、取得可能資格、就職実績
(3) 教職員	教員数、組織、専門性
(4) キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育への取り組み、実習実技への取り組み
(5) 様々な教育活動・教育環境	学校行事
(6) 学生の生活支援	生活上の諸問題への対応
(7) 学生納付金・修学支援	学生納付金、就学支援
(8) 学校の財務	学校の財務
(9) 学校評価	自己評価・学校関係者評価結果
(10) 国際連携の状況	
(11) その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

(ホームページ)・ 広報誌等の刊行物 ・ その他( ) )

URL: [https://www.sanko.ac.jp/fukuoka-bridal/pdf/school\\_information.pdf](https://www.sanko.ac.jp/fukuoka-bridal/pdf/school_information.pdf)

授業科目等の概要

(商業実務専門課程ウェディングプランナー学科) 平成31年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			ブライダル知識Ⅰ	婚礼の歴史や挙式・披露宴の基礎知識を学び、「アシスタントブライダルコーディネーター検定」取得を目指す。	1年	30	2	○			○	○			
○			ブライダル知識Ⅱ	婚礼の歴史や挙式・披露宴の基礎知識を学び、「アシスタントブライダルコーディネーター検定」取得を目指す。	2年	45	3	○			○	○			
○			未来デザインプログラム	ビジネス書の「7つの習慣」を教材に用い、7つの項目を習慣化することにより成功する為の力を養う。	1年	30	2	○			○	○			
○			ブライダルビジネスマナー	敬語の使い方、履歴書の書き方やビジネス文書の書き方など、社会人としての考え方をはじめ、ルールやマナーを学ぶ。	1年	30	2	○			○		○		
		○	就職対策Ⅰ	就職の心構えや目的を伝え、企業のエントリー方法や実践的な面接指導、そして内定後までの流れを指導	1年	30	2	○			○	○		○	
		○	就職対策Ⅱ	就職の心構えや目的を伝え、企業のエントリー方法や実践的な面接指導、そして内定後までの流れを指導	2年	30	2	○			○	○		○	
		○	パーソナルカラー	ファッションコーディネートで即戦力となれるように、色に関する知識、法則、技法を理論的かつ実践的に身につける。	1年	30	2	○			○		○	○	
		○	フラワーアレンジ	ファッションコーディネートで即戦力となれるように、色に関する知識、法則、技法を理論的かつ実践的に身につける。	1年前期	45	3	○			○			○	
		○	ペン字	日常的な文字をきれいに書くことにより、履歴書をはじめ、書類を専門的な技術、知識を持って書けるようにする。	1年前期	15	1	○			○			○	
		○	ブライダルプロジェクトⅠ	日頃の授業のアウトプットとして現場体験ができる行事を取り入れ、企画立案施行のすべてが出来るようにする。	1年	60	4	○			○	○		○	

		○	ブライダルプロジェクトⅡ	日頃の授業のアウトプットとして現場体験ができる行事を取り入れ、企画立案施行のすべてが出来るようにする。	2年	60	4	○		○	○	○	○
		○	ドレスデザイン	「認定ドレスコーディネーター」検定の取得を目標にドレススタイリストに必要な技術・知識を学ぶ。	1年	60	4	○		○	○	○	
		○	アテンダー実践	プランナー・キャプテン・介添え等の当日の動きと心構えを学び、具体的なアテンド方法をロールプレイングを通して学ぶ。	1年前期	30	2	○		○	○	○	
		○	プレゼン・コミュニケーション	場面や相手にふさわしい挨拶、正しい日本語、姿勢や表情の作り方、傾聴力などお客様とのコミュニケーションに必要なスキルを学ぶ	1年後期	15	1	○		○	○	○	
		○	心理学	接客心理とストレス心理を学ぶ	2年	30	2	○		○		○	
		○	ブライダルセールス	場面や相手にふさわしい挨拶、正しい日本語、姿勢や表情の作り方、傾聴力などお客様とのコミュニケーションに必要なスキルを学ぶ	1年	30	1	○		○		○	
		○	パーティープロデュース	挙式・披露宴における基礎知識・流れ・演出・時間管理を理解し新郎新婦の要望に沿った結婚式を創り上げることができるようになる	1年前期	30	1	○		○	○	○	
		○	空間コーディネート	会場・テーブルコーディネート・イメージ分類などブライダルデザインにつながる知識や技術を学ぶ	2年	30	1	○		○		○	
		○	英会話	基本的なコミュニケーションはもちろん、実際のウェディングの現場で使うようなシーンを想定した英会話をゲームやロールプレイング等を通して楽しく身につける。	2年	30	2	○		○		○	
		○	ブライダルアナウンス	司会原稿の作り方を学び、原稿に合わせ実践することが出来るようになる	1年後期	30	1	○		○		○	
		○	パソコン演習	検定取得を目指し、基本的な入力方法から書類作成など、パソコンの技能を習得。ブライダル業界に必要なパワーポイントや案内状等の作成を学ぶ。	1年	30	2	○		○		○	
		○	映像・WEB	プランナーとしての照明・映像へのアプローチ方法や打ち合わせ方法やそれぞれプロのテクニックを学ぶ。	2年	60	2	○		○		○	○
		○	ベーシックメイク	ベーシックメイク検定対策、基本的なメイクの手順、骨格や肌の構造等を学びメイクの基礎メイクテクニックを学ぶ。	1年	90	3	○		○		○	



		○	ベーシックヘアアレンジ	ホットカーラーや編み込み等ヘアアレンジの基礎からベーシックなアップスタイルを学ぶ。	2年	75	2		○	○					○	
		○	着付け	着物の基本的な着付け・畳み方・帯などの名称を学び、着付け検定3級の取得を目指す。	2年	75	2		○	○					○	○
		○	リーダーシップ論	チームで生花を出すための理論・人をまとめる力・人を活かす方法論等（理論・ワーク）	1年	60	2		○	○					○	
		○	営業ビジネススキル	チームで生花を出すための理論・人をまとめる力・人を活かす方法論等（理論・ワーク）	1年	30	1		○	○					○	
		○	ブライダルフェア企画・プレゼン	ブライダル業界の動向・流行を踏まえ、アイデアを出す積極性や利益について考える力を身に付ける。そこに基づいたフェアの企画・プレゼンテーションが出来るようにする。	2年	75	2		○	○						○
		○	ITスキル	ブライダル業界で必要なビジネスメールの送り方を学ぶ。ブライダル業界で必要なパワーポイントや案内状等の作成を学ぶ。	2年	75	2		○	○					○	
		○	ブライダルプランナー検定I	基本的な日米欧のブライダル市場の知識を学び、全米ブライダルコンサルタント協会が認定する「ブライダルプランナー検定1級」取得を目指す。	1年後期	45	3	○		○						○

		○	ブライダルプランナー検定Ⅱ	基本的な日米欧のブライダル市場の知識を学び、全米ブライダルコンサルタント協会が認定する「ブライダルプランナー検定1級」取得を目指す。	2年前期	45	3	○			○								
		○	ハウスセールス	接客する際の基礎知識やマナー、館内を案内する際の基本動作などをロールプレイングを通して学ぶ。又、顧客心理やコミュニケーションスキルについてもトレーニングする。	2年	60	2		○		○								
		○	オリジナルプランニング	挙式演出やハウス会場をテーマにしたパーティ演出を学ぶ。お客様のオーダーに対して適切なプランや演出をご提案できるように企画力を養う。	2年	60	2		○		○								
		○	パーティーサービス	披露宴会場やパーティー会場で適切なサービスを行えるよう、ドリンク提供の仕方やサーバーの使い方、お料理の出し下げの仕方等の技術を習得する。	1年後期	30	1		○		○								
		○	ブライダルデザイン	画像処理やデザインを習得し、オリジナルペーパーアイテムなどを製作する技術や会場のトータルコーディネートを学ぶ。	2年	60	2		○		○								
		○	ホテル概論Ⅰ	ホテル業に対する正しい知識を持つことを目的とし、組織や業務の特徴とは何かなどといった基本知識の理解を深め、ホテル産業やホテルという業種に対する深い知識を学ぶ。	1年後期	15	1		○			○							
		○	ホテル概論Ⅱ	ホテル業に対する正しい知識を持つことを目的とし、組織や業務の特徴とは何かなどといった基本知識の理解を深め、ホテル産業やホテルという業種に対する深い知識を学ぶ。	2年前期	15	1		○			○							
		○	レストランサービス検定対策Ⅰ	ホテルで働く人のための国家資格「レストランサービス技能検定3級」取得を目標に適切なサービスを行えるよう、しっかりとした技術を修得する（実技試験対策）	1年後期	30	2		○			○							
		○	レストランサービス検定対策Ⅱ	国家資格「レストランサービス技能検定3級」取得を目標に「おもてなしの心」を大切にした接客サービスのノウハウや料飲知識・法律を学ぶ。（学科試験対策）	2年前期	30	2		○			○							
		○	ホテルセールス	セールスの基本となるコミュニケーションから、必要書類の作成など販売活動について幅広く学ぶ。また、実践を見据えロールプレイング等も取り入れた授業を展開する。	2年	60	2		○		○								
		○	ホテルプランニング	ホテル業界における正式な接客マナーやホスピタリティについて実際の事例を参考に学ぶ。また、ホテルならではの演出や披露宴会場をまとめるプランナーの動きを学ぶ。	2年	60	2		○		○								
		○	レストランサービス演習Ⅰ	ホテルで働く人のための国家資格「レストランサービス技能検定3級」取得を目標に適切なサービスを行えるよう、しっかりとした技術を修得する（実技試験対策）	1年後期	30	1		○			○							
		○	レストランサービス演習Ⅱ	ホテルで働く人のための国家資格「レストランサービス技能検定3級」取得を目標に適切なサービスを行えるよう、しっかりとした技術を修得する（実技試験対策）	2年	60	2		○		○								

		○	インターンシップⅠ	現場での実習勤務を通して、お客様を迎えるまでの準備や施術中の役割の理解を深め、接客の基本姿勢を学んでいく。	1年前期	60	2				○		○	○		○
		○	インターンシップⅡ	現場での実習勤務を通して、お客様を迎えるまでの準備や施術中の役割の理解を深め、接客の基本姿勢を学んでいく。	1年後期	60	2				○		○	○		○
		○	インターンシップⅢ	現場での実習勤務を通して、お客様を迎えるまでの準備や施術中の役割の理解を深め、接客の基本姿勢を学んでいく。	2年前期	60	2				○		○	○		○
		○	インターンシップⅣ	現場での実習勤務を通して、お客様を迎えるまでの準備や施術中の役割の理解を深め、接客の基本姿勢を学んでいく。	2年後期	60	2				○		○	○		○
		○	ブライダル演習Ⅰ	挙式・披露宴の基礎知識、社会人に必要なビジネスマナーを学ぶ。また。演習を通して、現場スタッフに必要な実践力を身につける。	1年前期	60	2				○		○		○	
		○	ブライダル演習Ⅱ	挙式・披露宴の基礎知識、社会人に必要なビジネスマナーを学ぶ。また。演習を通して、現場スタッフに必要な実践力を身につける。	1年後期	60	2				○		○		○	
		○	ブライダル演習Ⅲ	挙式・披露宴の基礎知識、社会人に必要なビジネスマナーを学ぶ。また。演習を通して、現場スタッフに必要な実践力を身につける。	2年前期	60	2				○		○		○	
		○	ブライダル演習Ⅳ	挙式・披露宴の基礎知識、社会人に必要なビジネスマナーを学ぶ。また。演習を通して、現場スタッフに必要な実践力を身につける。	2年後期	60	2				○		○		○	
合計				51科目	2400単位時間(102単位)											

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
<b>【履修方法】</b> ●講義及び演習科目については15時間から30時間の授業をもって1単位とする。実習及び実技科目については30時間から45時間をもって1単位とする。各科目授業内テスト（実技科目の評価方法や実技・筆記テストを原則実施）の100点満点での素点からの5点法による評定とし、「2」以上でその科目の履修とみなす。 <b>【進級・卒業要件】</b> ●本校に修業年限以上在学し、所定の単位を修得し校長に卒業を認められた者に、卒業の認定を行う。卒業に必要な単位数は科目配当表に示すとおりとする。		1学年の学期区分	2期
		1学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。